

## 発泡スチロールの製造方法

みなさんの身近にある発泡スチロール。野菜や魚などの新鮮な食べ物を入れたり、家電を衝撃から守ったりすることに役立ちます。今回はその発泡スチロールの製造方法についてご紹介いたします。



発泡スチロール

### 【発泡スチロールの製造方法】

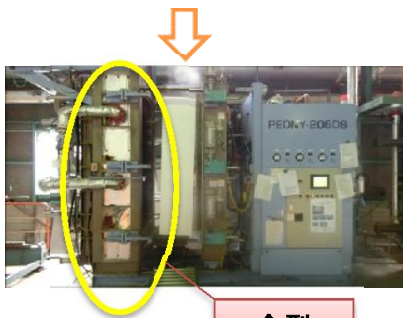


①写真は原料ビーズです。この原料ビーズには発泡剤が含まれており、蒸気(スチーム)をあてることで膨張してふくらむ性質があります。

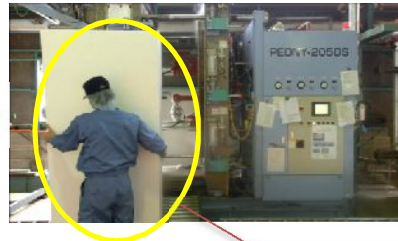


②原料を大きなタンクに入れ、蒸気をあてます。これを一次発泡といい、発泡倍率を30倍～100倍にしたものを製造できます。指定の発泡倍率に合わせて蒸気加熱を行います。

③膨らんだビーズを、1日～3日程ねかせます。そうすることによって膨らんだ形状がしっかりと安定します。

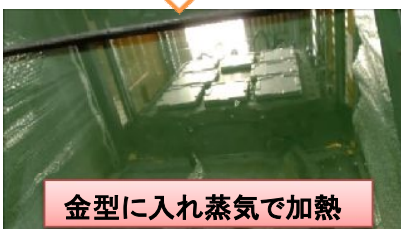


金型

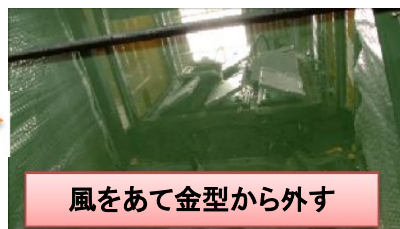


完成した発泡板

④膨らんだビーズを金型に流し込みます。そこでまた蒸気加熱を行うと、発泡スチロールの成形品となります。



金型に入れ蒸気で加熱



風をあて金型から外す

④発泡スチロールのふたも同様に、金型にいれ蒸気で加熱します。そのあと、風を当て金型から発泡スチロールをはがします。



⑤発泡スチロールの出来上がりです。ポリ袋に入れて出荷します。

身近な緩衝材である発泡スチロール。詳しくは営業担当までお問い合わせください。

参考文献: 大西化成 <http://www.onisikasei.co.jp/>  
<https://www.youtube.com/watch?v=d8v0QZ-sWgQ>